

平成 20 年度

第 2 回 芦屋の里浜づくり実行委員会

『議題資料』

平成 21 年 3 月 21 日

目 次

1. 第1回 実行委員会の振り返り 1
2. 里浜の実現に向けてのメニューと課題 2
3. 「つくる」を考える 3
4. 「守り・育てる」を考える 11
5. 「利用・活用する」を考える 14

1. 第1回 実行委員会の振り返り

第1回 実行委員会では、ワークショップや技術検討会を経て事務局より提示されたイメージ図や造成計画図に基づいた「里浜づくり」について、活発な意見交換・議論が行われました。

各委員からは、これまでの経験を踏まえた住民と行政との協働、松林の維持管理方法などに加え、松林における火災予防の重要性や、松葉の堆肥化等、これまでにない貴重な視点での議論を頂きました。

これらの内容を踏まえ、芦屋の町の財産となる里浜を、“つくる”“守り・育てる”“利用・活用する”という3つの主体となる視点から整理していくこととします。

「つくる」

マツを植えることなど、松林をつくるために必要なことや、できることについて考えます。

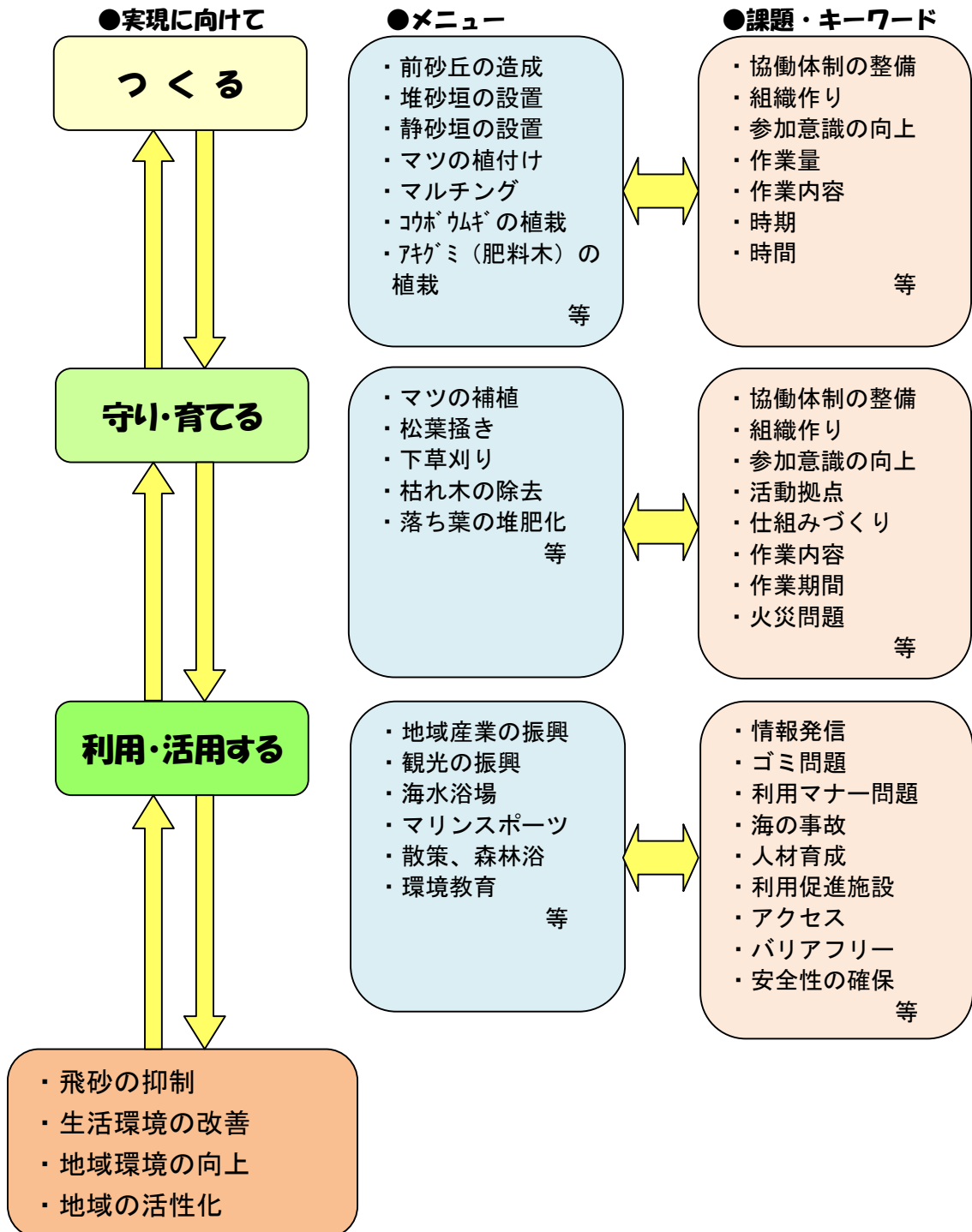
「守り・育てる」

松林をきれいにして、そこに生きるマツを健康に育てるために必要なことや、できることについて考えます。

「利用・活用する」

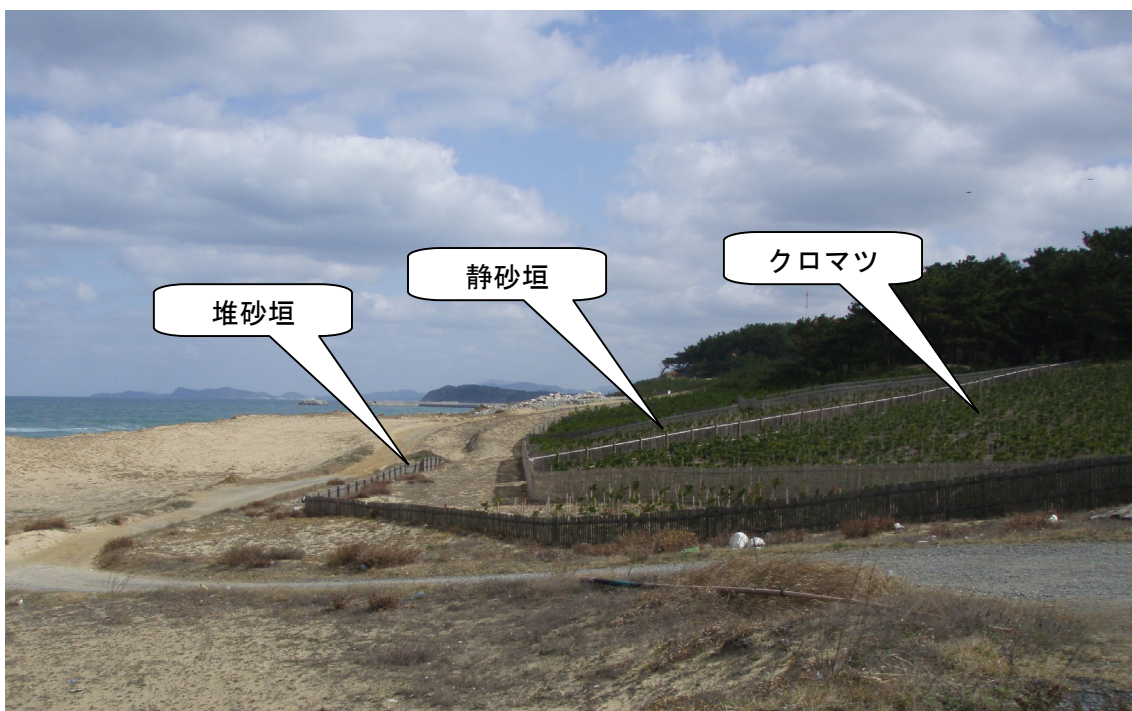
芦屋の町の財産として、どのような利用・活用があるのか考えます。

2. 里浜の実現に向けてのメニューと課題



3. 「つくる」を考える

砂の動きの大きな場所では、そのままでは植物が生育することが困難です。こうした場所では、前砂丘、堆砂垣、静砂垣等を組み合わせて砂の動きを抑制して、植物（クロマツ）を植えます。



写真：海の中道海浜公園

こうした施設を整備するための作業の中から主な作業項目を抜粋すると、以下に示すようなものがあります。

◆主なつくる項目

- | | |
|--------------------------------|--|
| 前砂丘造成 | : 前砂丘背後に減風域を作り飛砂の防止に効果があります。 |
| 堆砂垣設置 | : 堆砂垣は前砂丘と組合せて、海側から風で送られる砂を捕捉し、背後への砂の移動を軽減させます。 |
| コウボウムギの植栽 | : コウボウムギは、砂の移動により多少埋もれても、上に伸び、生育する性質があり、地表面の砂の移動を抑制します。また、前砂丘の形状の安定化にも効果があります。 |
| 静砂垣設置 | : 静砂垣は、クロマツ幼木の育成区域内への砂の侵入を防ぎ、育成環境を保つことが出来ます。 |
| クロマツの植栽
・通常クロマツ
・抵抗性クロマツ | : 背後域への防風・飛砂防止の他、防潮の効果があります。1㎡当たり1本植えます。
抵抗性クロマツはクロマツと同様の効果の他、マツクイムシによるマツ枯れ予防効果もあります。 |
| 肥料木(アキグミ)の植栽 | : 肥料木は、効率よく空中窒素を固定して宿主樹木に窒素を供給します。クロマツ7~10本に1本の割合で植えます。 |
| マルチング | : 地表の乾燥防止や砂の移動防止のため間伐材チップ(敷設厚: 4~5cm)を敷設します。 |
| 防砂フェンス設置 | : 防砂フェンスは、より広域な範囲で減風域を確保し飛砂の拡散を防ぐものです。 |

管理用道路 : 松林の維持管理をするため、作業車等が通行する道路です。

散策路 : 駐車場などから浜辺へ行くための松林の中の小道です。

次ページ（表 3.1）に、各作業がどこで行われるかを示します。

表3.1 施設一覧表

項目	前砂丘、堆砂垣、コウボウムギの植栽	静砂垣、クロマツの植栽	管理用道路、散策路、防砂フェンス
図面			
造成方法・目的	<p>前砂丘、堆砂垣、コウボウムギの植栽を行うことにより、海側から風で送られる砂を捕捉します。</p>	<p>静砂垣によりクロマツ幼木の育成環境を保ちます。クロマツが成長すると、防風、飛砂防止、防潮効果があります。</p>	<p>散策路は散歩を楽しむ小道です。維持管理用道路はクロマツの育成管理に使用する車両等が通行します。防砂フェンスは、対象地区域以外の飛砂拡散を防止します。</p>
施設規模	<p>前砂丘：700.7m 堆砂垣：1,541.4m (2列で設置) コウボウムギの植栽：7,007.0㎡</p>	<p>静砂垣：全体面積37,914.8㎡ 10m × 10m：26,698.5㎡ 上図①～⑩ (267区画) 5m × 5m：11,216.3㎡ 上図⑪～⑮ (449区画) クロマツの植栽：総本数37,915本 (マルチング同時施工) 通常クロマツ：26,699本 上図①～⑩ 抵抗性クロマツ：11,216本 上図⑪～⑮ マルチングの敷設37,914.9㎡ 肥料木の植栽：3,791本 (アキグミ)</p>	<p>管理用道路：2,899.8㎡(1,070m) 散策路：265.9㎡(175m) 防砂フェンス：185.0m</p>
住民参加メニュー(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・堆砂垣設置 ・コウボウムギの種採取、育成、植栽 	<ul style="list-style-type: none"> ・静砂垣設置 ・クロマツの植栽 ・マルチングの敷設 ・肥料木(アキグミ)の植栽 	

注)この表に示す数量は概略の値で今後変更する場合があります。